

ことしにかける



(むすび)

市民のみなさんひとりひとりが、ことしの市政への期待を寄せられました。あなた自身は、何を期待されますか。

初心にふり返って、ことしの市政について、もう一度考えなおし、市民のみなさんがお互いに手をとりあい、住みよいまちづくりを推し進めていきましょう。

市民のみなさんとともに歩む市政こそ、地方自治の前進ではないでしょうか。

三百六十五日の卓上日記も、みるみるうちに姿を消し、でもまだ何日分残っている間に、はや七十五年度の新品を受け取り、あともう新年か。ふり返ってみれば、アッという間の一年間、地球の回転が、昔と今では早くなったのではないかと疑いたい気持ち、これも年のせいかもしれないですね……。

今まで仕事に追われ、生活に苦しみ、一日一日、ただそのことばかりに気を配り、くたくたの人生……そして七十五年の新年を迎えました。

本年の社会情勢も多事多難、取り上げればきりがありませんが、今年こそ大きく目を開き、「わたし」中心、自己本位に移行しつつある世相を見逃がすわ

すがすがしい新春がスタートしました。

向日市となって三年、わたしたち地域社会の発展を願う一市民として、未来（これから）の向日市はどうあるべきか、などを考える、ついでにペンをとる気になり、未来の向日市をつくる刺激となれば、の思いでペンを走らせました。

向日市は、現在、人口四万四千五百六十六人、面積八平方キロメートルの小さい「市」ですが、田畑が住宅地となり、山林が道路に、ここ十年以内には、長岡京市、御池、六地藏へと地下高速鉄道が計画されつつある。現年、十年一昔と申しますが、驚くべきスピードで地域開発が進められています。

しかし、わたしは、生活環境の内部的なものとして、余暇時

余暇活動への諸方策を

人間性の回復のために



(松井靖夫さん・30代)

間の開発が考えられねばならないときであると思います。労働時間の短縮によって増大する余暇が、暴行、麻薬、性犯罪など、社会の病理現象を生み出すものと

これら諸方策をおして、市民相互の交流と連帯意識が芽ばえ新しい型のコミュニティの成長をすることが期待されます。

例えば、「みる」のレクリエーションから「する」のレクリエーションの時代へ移り、週末の午後などは親子混合の球技大会などもたちは受験勉強から解放され、思いきりスポーツを楽しんでいる、老人たちは森林公園を歩いたり、物をつくったり（ハンドクラフト、絵画、書道、茶道、詩歌など）を主とした活動をしながら、ときには若い人たちと交歓会を催している。

創造と社交と活動などの欲求が、これらレクリエーション施設を中心とした場で満たされ、人間性の回復に大きく貢献していると思えます。

こどもに想像力を

健康でたくましい子に



(津守 徳さん・50代)

けにはいかならないと思います。いくらいいことといっても、他人無視の考えでは、実現できません。このつかみどころのない現

いろいろな教育問題もでていますが、やれ教育ママさん、受験地獄など、またこどもの教育に関する本で、創造性を伸ばすばかりのものは、たいてい、健康でたくましく、人様に迷惑をかけない一人歩きのできる人間に育てていただきたい、と思えます。

創造力より想像力を伸ばすことではないかと思えます。

日本は、資源皆無の国、それにかわるものは人間、それは教育。

本年は、何が何でも、教育の年でありませう祈ります。



4万市民のあす

